



おちほ

第45号 平成15年2月7日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 山下 陽一



あれれ！黒いおひげの
サンタサン？！

去る十二月二十四日に毎年恒例のクリスマス会が行われました。しかし、今年のクリスマス会は昨年までとは違い始まりから終わりまでをすべて食堂で行ないました。今年はこちらはこじんまりとはしていましたが、舞台と寮生さんの距離が非常に近く、アットホームな感じで楽しいひとときを過ごすことができました。

歌あり、踊りあり、ごちそうありのクリスマス会ですが、やはり一番気になるのはプレゼント渡し。今年、落穂寮を訪れたサンタクロースは、白ひげならぬ黒いおひげのサンタクロースでした。寮生さんはそんな事はおかまいなしに、プレゼントが運ばれて来ている方向へ神経を集中させていました。焦る気持ちからか、早とちりをして立ってしまったり寮生さんもおり、その場を笑わせてくれました。

今年も無事全員にプレゼントが届いて一安心です。さて、来年は何色のおひげのサンタさんが来てくれるのでしょうか。

待ち遠しいですね。

ふくむ今昔

愚者にして、賢者周梨槃特（暗愚でのち大悟した）
積尊の弟子の一人にあやかることができたか

理事長 増田正司

大先輩田村一二先生の聞きがたりだが、愚者といわれた槃特さんは竹筆一本、掃除三昧（さんまい）の日々を送っていた。すでに仏法を成道（さとる）した賢者高僧や弟子信者に囲まれ、お釈迦さんの説法が始められる。槃特さんの日々の精進は仏道の実践であるためでられ、衆の反対を押し賢者高僧の列座に加え、説法に参加させたという。槃特さんの死後、埋葬された地上に「茗荷」が生えた。世俗に槃特さんの生まれかわりだという話の落ちも聞かされた。生来愚直鈍根の僕はホモサピエンス（知性人）ならぬホモファーベル（工人）が性（しょう）にあつて、屋外の空気にふれ陽光のもと汗をかく過ごし方が好ましい。幼少の思ひ出はつねに戸外で遊ぶ姿がうかんでくる。スポーツを一緒にたのしんだ学友と今も旧交を温めている。福祉の仕事に就いてからも、園生・寮生の野外活動や身体を動かした教育・訓練・指導を心がけてきた。遠距離ドライブをたのしみ、夏の海に遊び、冬の雪原を拙走ながらスキ

ーをエンジョイした。身体のしくみがそれを望むのかもしれない。寒空にジョギングやウォーキングを今も続けている。寮内の草木が「ボウボウ」に生い茂っているのを、見過ごせなくて手をつけはじめると、きりがなほどしななければならぬ箇所が次々できて忙しくなった。箒・熊手でひたすら落ち葉をかきあつめ、焼却場や堆肥置き場にはこぼ。散らかった寮庭や周辺がかたづけられると、そこが突然輝かしく見えてきた。そして僕も愉快になる。

だからも踏まれたことがない片隅が生き生きと姿をあらわして登場する。新しい発見だ。ほくのこころの「モヤモヤ」も消え、「安心」におきかわった気持がひろがってくる。

槃特さんのような道をきわめて「さとり」の境地に達することはできないが、汗をかいて作業を終えた後の「さわやかな思いにひたることができた。

年寄りの冷水にならないように、心がけていきたい（1・10）

ふくむ今昔

未踏の一步

寮長 山下陽 一

新年明けましておめでとうでございます。皆さまにとって幸多い年でありますようお祈りいたします。

さて、この四月より支援費制度が発足いたします。福祉制度が大きく変革されることになり前人未踏の新制度に第一歩を歩み出すこととなりますが、皆さまのご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。

年末のこと、強い自閉傾向のあるU子さんが私のところへやってきました。ときどき五〇人の顔写真を物指しで指しながら、「これワタシや、これAさん、これ・さん」と最初の四人はいつも同じ人を指した後、私が全員の顔写真をランダムに指すと一人ひとり「さん」付けで名前をあげて遊んで帰るのですが、その日は最初から相手にせず、書類を読んでおりました。Uさんは様子がいつもと違うと思ったのでしょうか、

しきりに、「写真したい」と繰り返すのですが、依然として彼女のほうに顔を向けません。いよいよ諦めたのか「固まったのや」これを二、三回繰返し振り返りながら部屋を出て行きました。

知っている少なく限られたことはを巧みに使いながら自分の気持ち

言い表している彼女の思いもしないことば使いに、かわいらしさと、滑稽さに思わず大笑いしました。

私たちはU子さんほどの障害がありませんから言葉を選びながら何とか気持ちを伝えたり、考えを話したりすることができそうです。ところが、使うことが限られているとしたら、この世界は私たちとは違った様式に見えているのかも知れません。

私たちが頼みとし寄りかかっている大脳はその領域で主な役割がきめられていくようですが、便利で豊かで苦しみのない生活をもたらしように発達しているものも発明したり開発したりしてきました。そのおかげで便利な生活ができるようになってきていますが、その反面昔あるいは小さかったころ見えていたものが見え難くなってきたこともあるようです。この大脳が発達し知識が豊かになるとともに、事の本質や中身を見抜く力より、形とか外見をより詳細に見ることにその能力の差があらわれます。

田村一二先生のお描きになった油絵は「きつねぼし」や「かっぱ沼」に紹介されていますが、その世界は私たちとはまったく別のものがあつたのではないかと思えます。これらの画集には収められていませんが昔から気がかりな油絵が一枚あります。今から十年前のことでしょうか。

月の弱い光を受ける深閑とした森の

なか、大きな樹木と樹木が梢を複雑にしなわせて絡み、話を交わしている様子を描かれたものです。この「月夜の樹々」(タイトルの思い出せないので仮によばせてもらいます)は先生のご自宅での講座に参加させていただいたときの印象は、先生はずいぶん孤独な方だなーと今日までずっと思っております。それでもなにか気にかかるものがありました。ところが、最近はどうもそんなことではないのではないかと、思っています。

宮沢賢治の童話の中に「月夜のでんしんばしら」というのがあるので、ご存知の方もあつてでしょう。ある晩、少年は線路の傍を歩いているとき、でんしんばしらの列がおおいばりで一ぺんに歩き出したというのです。

でんしんばしらが肩をそびやかして「ドツテドツテドツテ、ドツテドツテ」と軍歌を歌いながら行進しているのです。中には足元が腐って足を引きずりながら歩いているでんしんばしらもおれば、「お一二、お一二」と号令をかける大将もいる。

昔の国鉄線路に平行して通信回線のためだったのでしょうか、何十本も平行に電線が張られた電柱が立ち並んでいたのですが、それが一斉に歩きだしたというのです。このでんしんばしらの一斉行進がこの少年は見

えたのでした。

わたしたちも小さかったころ、サントクロースはつじつまが合わない思いを残しつつもおもっていたわけですが、田村先生の「月夜の樹々」は大脳に寄りかからないでより自然の視点に立っておられる先生の生活があつてこそ覗ける世界を私たちに紹介しておられるのではないかと、思っています。

毎日新聞の家庭欄童話コーナーに、のろさかんさんが「あまだれピアノのほうし」を発表されておられましたが、虫たちの話が聞こえ、月の光を縦糸にピアノの音を横糸に編んだ帽子が見えるそんな世界のおはなしでした。

先日、のろさんの詩による合唱曲の演奏会がありました。誘われて大阪まで出かけたのですが、縄文時代の自然や人びとの営みを称えた「銀の矢ふれふれ」縄文讃歌」のエピソードは次のよう締めくくられておりました。

大自然の声のない声を聞き
大自然の心を心とし
清らかに生きよ

この結びの詩を高らかに歌いあげるとき、とり肌がたつおもいで深く肯きました。

鈴鹿サーキットのブルー遊園地にて



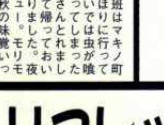
ゴーカート
おもしろいよー

クリひろい&イモほり
バンガローで
バーベキュー

鈴鹿サーキットへは男
子だけの9名で行きまし
た。温泉プーブルは2日目は遊
園地で目いっぱい遊んだ
ました。遊園地ではどの乗
手さんもゴーカートを上
手に乗り回し、絶叫マシ
ンにチャレンジした1日
となりました。遊園地を行
きたいよね！



たくさんクリを
ひろったよー
「自然でのんびり」班はマナブ町
へクリひろいとりもほりに行つ
て来ているクリをひろっている
ら。クリは寒に持って帰っておい
しに食べてみることにしました。夜
は朽木村でバーベキュー。もりも
りとなんか食べ、秋の味覚だった



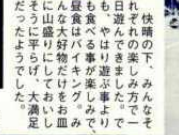
ブルーへの丘で楽しもうH14年 9月13日 金曜日



心も体も
リフレッシュ
思いま
す。

温泉プール班

11月12日・13日に
天の橋立方面へ行
つてきました。1
日目はクアハウス
岩海で温泉プー
ルを楽しむ、2日
目は出石そばのそ
ば打ち体験、そし
て出石焼の給付け
体験をしました。
体を動かして、た
くさん食べて、
貴重な体験もす
ることができて
とても充実した
旅行にうなずくと
思います。



リフレッシュ旅行

温泉プールで
バシヤバシヤ。
1日目は
パン作り

バスの中ではカラオケ大会!
マイクを持って、みんなで
楽しく歌いました
みんな上手だったよ。

映画村・有馬温泉
神戸港クルージング
...



10月21日・22日と、
「毛のつくり」では
淡路島に行つてきま
した。
みんな離陸の足取り
組んで、がんばりま
した。



ドライブとっても楽しいな。
この班は京都のみ4名の
女子と有馬温泉、そして
神戸港を客船でクル
ーズクルージングしてき
ました。海の上では小
見ながらみん
な大はなはな
で、当然でお
いしい料理
も楽しんで
きました。

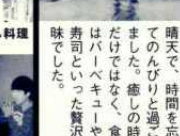


旅館では但馬牛も!!

お履いっぱい食べるぞー。

砂丘でのんびりす
るには持っていて忘れ
晴天で、時間を忘れ
てのんびりと過して
ました。癒しの時間
だけではなく、食事は
バーベキューやお
寿司といった贅沢三
昧でした。

海は広いな
11時止



砂丘 in 金沢
H14.8.29~30

H14年
12月10日(火)
11日(水)

男子棟親子旅行

楽しい親子昼食会



▲親子で仲良くハイ、チーズ!

十一月二十三日、男子棟は親子旅行に行きました。毎年様々な場所に行っていますが、今回は近江舞子ホテルでの親子昼食会になりました。なかなか大人数（ちなみに今回は全員で六十七名）を貸し切る場所がなかなかなく、ホテルで昼食会という形になってしまいました。当日は見事な晴天で、十一月なのにジャンパーはいらぬくらい暑さでした。観光バス二台に乗って出発！休憩を入れて一時間程で、ホテルに到着。ホテルでは宴会場を貸し切っていました。大きな部屋に白いテーブルがあり、テーブルの上には豪華な食事が配膳されていました。私（職員）はホテルで食事などした事もないので、ひどく



▲ホテルの食事はおいしいなー。

緊張していたのを覚えています。食事会が始まるととても和やかな雰囲気でした。寮生さんもおいしそうに食べていろいろ話もできて交流を深めていたのではないのでしょうか。その後は、話を続けたり、ホテルを出てすぐの琵琶湖の湖岸を散歩したりする所もありました。寮生さん、保護者、職員との行事はなかなかなく、この親子旅行はみんなにとつて大切な行事です。来年もぜひ、楽しい親子旅行にしたいと思えます。保護者の方々、御参加ありがとうございました。

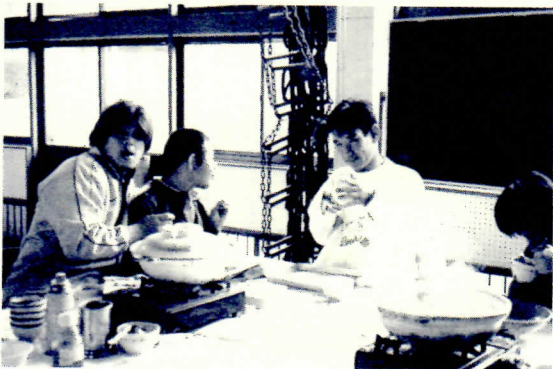
男子棟忘年会

お腹いっぱい鍋料理

男子棟一年の締め括りの忘年会を十二月十四日土曜日、落穂寮体育館で行いました。午前中は会場の準備をしました。餅糍をしいたり、机を出したり、食材を運んだり、寮生さんがんばって手伝ってくれました。今年の忘年会のメニューは冬、定番の鍋料理、辛いキムチ鍋とみそちゃんこ鍋を食べました。寮生さん、職員共においしく食べました。辛いのには全くダメでみそちゃんこばかり食べる人や、逆に辛いのが大好きで、そればかり食べる人や、ウインナーばかり食べる人や、それぞれの食べ方で満喫していました。それにしても寮生さんの食べ



▲盛り上がってま〜す!



▲冬は鍋料理が一番だね〜。

る事、食べる事！新人職員さんは改めて寮生さんの食べっぷりに舌を巻いていました。職員が食べ終わっても、寮生さんはまだ食べていました。その後はおやつづくりでフルーチェを作り、おやつにしました。終わったのが三時すぎで、五時三十分にはいつもの夕食。職員は昼間の鍋が残っていたので、あまり箸が進まず……。しかし寮生さんはすぐにおかわりの催促。職員はただただ驚くばかりでした。一年間、おつかれさまでした。来年もモリモリ食べてがんばって下さい。

女子棟親子旅行

〜モクモクファームへ〜

去年の11月17日、毎年恒例の女子棟親子旅行に行ってきました。今年は三重県の「もくもくファーム」が目的地。去年、おとしと温泉旅館で昼食会という旅行が続いたので、今年は野外でのびのびと過ごしてもらおうと今回の旅行を計画しました。ただ天気だけが心配だったので、当日は見事な秋晴れで旅行には絶好の日和で汗ばむほど。寮生さんの大好きな観光バスに乗り込みいざ出発！ 行先のモクモクファームは農業を中心にしたテーマパークで、野菜やお肉、またそれらの加工品など



を生産販売しており、食べることの大好きな寮生さんには正に樂園と言ってもよい場所。到着後はまず昼食で、伊賀豚のバーベキューを楽しみました。食堂から見える芝生の上をかわいらしい小豚がウロウロするのを見ながら肉を食べるのは奇妙な感じもりましたが、寮生さんは全くそれにはおかまひなしで食事を楽しんでくれました。食後は自由行動で保護者の来られた寮生さんは保護者の方と、残念ながら保護者の来られなかった寮生さんは職員と一緒に思い思いの場所へ散策へと出かけました。パン工房で焼ききたてのパンを味わったり、羊やヤギ、馬などの動物とふれあいを楽しんだり（怖がって近づけない寮生さんもありましたが）、ビール工場では試飲のビールを一气飲みしてしまったり…。池でのいかだ乗りにも怖る怖るチャレンジする寮生さんもいて、食べたり飲んだり遊んだりとても充実した一日になりました。帰りの駐車場でまだ遊び足りないのか、バスを見た途端に怒りながら逆方向へ走り去るうとする寮生さんも約1名いましたが、笑顔がいつぱいの楽しい親子旅行になったと思います。

女子棟忘年会

〜2002年喰い納め〜

もう年は明けてしまいましたが、十二月二十一日に、忘年会を行いました。女子棟ではホールで鍋を食べるといのが恒例になっていて、今回も二クラスづつで鍋を囲みました。醤油味、味噌味と、味が二種類。普段は体重維持を考慮して、おかわりが制限されているのですが、行事の時は心ゆくまで食べてもらっているのので、今回は鍋がなくなるまで食べ続けていました。中盤あたりから職員の食べるペースは減速。しかし！みんなは味わっているの？というぐらいおかわりを要求。終盤になり、ご飯で雑炊を作ったのですが、職員は一口でギブアップ状態にも関わらず、みんなのおはしが止まることはありませんでした。恐るべし無限の胃袋…。きれいに鍋を食べた後は、クラスごとに一年を振



▲早く食おな取やらられるー！

り返ってもらいたい、発表してもらいました。各クラス、本当に色々ありましたねえ。二〇〇二年の反省は来年に活かそう。二〇〇三年もみんなにとって良い年でありませう。と祈った後は、三時のおやつ。また食べるのかい…。さすがは女。デザートは別腹よ！と言わんばかりにパクパク。本当にお腹いっぱい食べました。みんな楽しんで納められました。食べることが大好きなみなさん、年が明ければ新年会で喰い初めが待ってますよ！



▲煮えるまでちょっと休憩。

石部中交流会 Part 11

前号で掲載させて頂いた石部中交流会の第2回目が十月二日水曜日に行なわれました。一回目とは違い、多少慣れた事もある前回よりも関わりを多く持つ事ができた生徒さんが多く安心しました。また、多くの方が良い体験ができたと思いをのべておられ、職員一同「ホッ」と胸を撫でおろしています。その一部をここに紹介させて頂きます。是非、これを機会に今後おつきあいの程、よろしくおねがいいたします。

①一回目と比べて、今回自分が変わったと思う点は何ですか。
②交流先の方々へ

①一回目は、ぜんぜん話せなかったけど、二回目になって、少しは、話せることができた。そして、仲良くする事もできたのが変わったと思います。
②今日は、障害のある人と歩けてとっても楽しかったです。歩くのがすごく遅かったけど、話も少しできたので良かったです。今日一日、疲れたけど、楽しくできたので、うれしかったです。今日一日、ありがとうございました。



①一回目は、何するにも緊張していた。でも、二回目は、始めは緊張していたけど

鈴木 有紀子

ど、お昼頃から緊張しなくなった。そこが変わった。

②一回目は、とても緊張していました。どんな人か、どんな先生か…。二回目は一回目の人達と同じ人達だったし、趣味とか、好きな芸能人とか、交流した人達三人が姉弟だった事も知っていました。織物をやっている時すごく私もやってみたいなあって思いました。糸を輪にする作業ができて、良かったです。すっごく楽しかったです。もし今度、どこかで会ったら、覚えていたら手をふって下さい。ありがとうございます。

内田 菜月

①一回目は、落穂寮の人達にする事にイヤだなあと思ってたけれど、二回目はあまり気にならなかった。ちょっとだけ話しかけることができた。
②この前と今日は、本当にありがとうございます。障害者の人と一緒に活動したり、手をたないで歩行するのも初めてだったので、とても緊張していました。私は二回ともすっごく



で体を小さくしながらおとなしくして、全然交流っていう雰囲気じゃなかった。また機会があったら自分から沢山話しかけようと思いた。でもいい体験ができて
関田 仁美

サンタの正体は?

落穂寮には、毎年サンタクロースが来て下さいます。寮生さんにはなく"落穂寮"にです。ここ十数年間ずっと来て下さっているその正体は、NEC労働組合の皆さんでした。一年間、私達の生活に欠かせない灯を提供してくれた"ランプ"をねぎらいながら新しいものに交換し、新年にはつらつとしたあかりが注がれるようにして下さいます。交換して頂いた直後、職員は思わずその明るさに感激してしまふと同時に、今まで見えなかった汚れを発見して更に感激(ショック)を受けて大掃除に取り組んでいます。灯のある事にあらためて感謝するとともに、毎年来て下さるNEC労働組合の皆さんにお礼を申し上げて、新年を迎えたいと思います。ありがとうございます。



競輪補助事業 完了のお知らせ

この度平成14年度の日本自転車振興会(競輪)の補助を受けて、左記事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名
平成14年度職員宿舎の建築補助事業
 - 一、事業内容
職員宿舎の建築2階建て12室
 - 一、総工事費
四七、二五八、四〇〇円
 - 一、補助金額
二四、八二四、〇〇〇円
 - 一、実施場所
滋賀県甲賀郡石部町
東寺二丁目2番2号
 - 一、完了年月日
平成15年1月31日
- 社会福祉法人権の木会
理事長 増田正司

